



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月10日

上場会社名 旭コンクリート工業株式会社
 コード番号 5268 URL <http://www.asahi-concrete.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 和久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 塚原 宏

TEL 03-3542-1206

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,138	1.7	315	97.1	342	70.9	226	56.5
29年3月期第2四半期	5,225	7.3	160	58.0	200	49.0	144	43.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	17.23	
29年3月期第2四半期	11.01	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,774	9,397	68.2
29年3月期	14,704	9,261	63.0

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 9,397百万円 29年3月期 9,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				12.00	12.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	3.2	670	1.0	710	1.4	480	0.7	36.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	13,233,000 株	29年3月期	13,233,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	85,365 株	29年3月期	85,303 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	13,147,679 株	29年3月期2Q	13,147,754 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は緩やかながら回復局面にあり、企業収益や個人消費に改善が見られましたものの、景気の波及効果では地域や業種に偏りが生じており、海外では堅調を維持する米国をはじめ経済は拡大基調ですが、朝鮮半島や中東での地政学的なリスクの高まりなどから、景気の先行きは不安定な状況となっております。

当社の関連するコンクリート製品業界では、公共事業が総じて縮減されるなか発注が遅れ気味であり、人手不足や諸経費の上昇などが重なり事業環境に厳しさを加えております。

当社は「中期経営3ヶ年計画」grow up ASAHI（成長する旭へ）の2年目である当期、ボックスカルバートをはじめとする各種製品の優位性を高めるための耐震性・止水性に高い評価を得ている接着継手工法「TB（タッチボンド）工法」と、CO₂及び騒音を低減する環境配慮型の優れた施工性を有する工法である「ECO-C・L（エコ・クリーンリフト）工法」の普及を図り、拡販に務めました。さらに構築物のプレキャスト化への提案営業を強化してまいりました。

こうした取り組みの結果、当第2四半期累計期間の売上高は51億3千8百万円と前年同四半期（52億2千5百万円）に比べ減収となりましたが、損益面におきましては営業利益3億1千5百万円（前年同四半期は1億6千万円）、経常利益は3億4千2百万円（前年同四半期は2億円）と増益となりました。

四半期純利益は、特別損失を差し引きし、税金費用1億1千万円を控除した結果、2億2千6百万円（前年同四半期は1億4千4百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

（コンクリート関連事業）

コンクリート関連事業は、受注高は47億7千3百万円、売上高は51億1千3百万円（前年同四半期は52億円）、セグメント利益は3億3千4百万円（前年同四半期は1億7千5百万円）となりました。

①セメント二次製品部門は、受注高が21億5千9百万円、売上高は24億8千5百万円（前年同四半期は20億7千5百万円）となりました。

②工事部門は、受注高が2億1百万円、売上高は1億8千9百万円（前年同四半期は2億円）となりました。

③その他部門は、工事用資材及びコンクリート製品に装着する資材等で、受注高は24億1千2百万円、売上高は24億3千8百万円（前年同四半期は29億2千4百万円）となりました。

（不動産事業）

不動産事業は当社が保有するマンション等の賃貸収入で、売上高は2千4百万円（前年同四半期は2千4百万円）、セグメント利益は9百万円（前年同四半期は1千1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は137億7千4百万円（前事業年度末に比べ9億3千万円減少）となりました。流動資産は前事業年度末に比べ9億9千万円減少し92億9百万円となり、固定資産は6千万円増加し45億6千5百万円になりました。流動資産の主な減少は、売上債権の減少が12億8千4百万円であります。

当第2四半期会計期間末における負債は43億7千6百万円（前事業年度末に比べ10億6千6百万円減少）となりました。流動負債は前事業年度末に比べ10億9千7百万円減少し32億6百万円となり、固定負債は前事業年度末に比べ3千万円増加し11億7千万円となりました。流動負債の主な減少は支払手形及び買掛金の減少が10億8千2百万円であります。

当第2四半期会計期間末における純資産は93億9千7百万円（前事業年度末に比べ1億3千5百万円増加）となりました。主な増加は利益剰余金の6千8百万円であります。その結果、自己資本比率は68.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前事業年度末に比べ、3億4千3百万円増加（前年同四半期は2億4千2百万円の増加）し、当四半期末残高は18億8千8百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動における資金収支は、税引前四半期純利益3億3千6百万円、減価償却費1億4百万円、売上債権の減少12億7千4百万円等の資金の増加が、仕入債務の減少10億2千6百万円等の資金の減少を上回ったことにより、資金の増加は6億2千9百万円（前年同四半期は5億1千6百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動における資金収支は、有形固定資産の取得による支出1億2千4百万円等により、資金の減少は1億2千4百万円（前年同四半期は1億6百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動における資金収支は、配当金の支払額1億5千5百万円等により、資金の減少は1億6千1百万円（前年同四半期は1億6千7百万円の減少）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月18日に公表しております予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,030,156	4,373,774
受取手形及び売掛金	4,232,099	3,213,522
電子記録債権	725,068	459,201
製品	1,015,864	938,482
原材料及び貯蔵品	94,534	69,207
その他	107,601	159,235
貸倒引当金	△5,489	△4,090
流動資産合計	10,199,837	9,209,334
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	206,133	200,817
機械及び装置（純額）	187,071	185,702
土地	1,677,601	1,677,601
その他（純額）	381,505	358,353
有形固定資産合計	2,452,311	2,422,474
無形固定資産	70,445	70,150
投資その他の資産		
投資有価証券	791,832	875,609
関係会社株式	1,005,862	1,019,078
その他	198,506	191,789
貸倒引当金	△14,083	△14,051
投資その他の資産合計	1,982,118	2,072,426
固定資産合計	4,504,876	4,565,051
資産合計	14,704,713	13,774,385
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,680,605	2,598,603
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	163,019	118,301
賞与引当金	106,500	83,200
その他	153,324	206,177
流動負債合計	4,303,448	3,206,281
固定負債		
長期借入金	800,000	800,000
退職給付引当金	62,727	67,497
長期未払金	67,960	56,000
その他	209,122	247,174
固定負債合計	1,139,810	1,170,671
負債合計	5,443,258	4,376,953

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,204,900	1,204,900
資本剰余金	819,054	819,054
利益剰余金	6,915,818	6,984,547
自己株式	△44,965	△45,009
株主資本合計	8,894,808	8,963,492
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	366,645	433,939
評価・換算差額等合計	366,645	433,939
純資産合計	9,261,454	9,397,432
負債純資産合計	14,704,713	13,774,385

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,225,419	5,138,307
売上原価	4,554,275	4,307,224
売上総利益	671,143	831,082
販売費及び一般管理費	511,048	515,522
営業利益	160,094	315,560
営業外収益		
受取利息	2,440	288
受取配当金	33,212	35,614
その他	12,317	2,554
営業外収益合計	47,970	38,458
営業外費用		
支払利息	6,162	7,073
その他	1,719	4,781
営業外費用合計	7,882	11,855
経常利益	200,182	342,164
特別利益		
投資有価証券売却益	747	-
特別利益合計	747	-
特別損失		
固定資産除却損	3,016	5,293
固定資産売却損	43	-
特別損失合計	3,059	5,293
税引前四半期純利益	197,870	336,870
法人税、住民税及び事業税	67,154	106,014
法人税等調整額	△14,053	4,356
法人税等合計	53,100	110,370
四半期純利益	144,769	226,500

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	197,870	336,870
減価償却費	120,845	104,506
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,081	10,124
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△40	△1,430
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,218	△23,300
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,000	△23,000
受取利息及び受取配当金	△35,653	△35,903
支払利息	6,162	7,073
有形固定資産除却損	3,016	5,293
有形固定資産売却損益(△は益)	43	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△747	-
売上債権の増減額(△は増加)	1,204,688	1,274,282
たな卸資産の増減額(△は増加)	△178,529	102,709
その他の資産の増減額(△は増加)	△41,399	△41,214
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49,821	5,885
仕入債務の増減額(△は減少)	△671,509	△1,026,063
その他の負債の増減額(△は減少)	24,926	39,092
小計	536,713	734,926
利息及び配当金の受取額	30,192	30,405
利息の支払額	△6,986	△6,847
法人税等の支払額	△43,276	△129,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	516,643	629,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,485,000	△2,485,000
定期預金の払戻による収入	2,485,000	2,485,000
投資有価証券の売却による収入	3,022	-
有形固定資産の取得による支出	△109,742	△124,813
有形固定資産の売却による収入	20	-
差入保証金の差入による支出	△202	△1,012
差入保証金の回収による収入	206	1,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,695	△124,267
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△43
リース債務の返済による支出	△11,424	△5,561
配当金の支払額	△156,120	△155,744
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,545	△161,350
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	242,402	343,617
現金及び現金同等物の期首残高	1,323,717	1,545,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,566,119	1,888,774

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。